



SMB共有のメタデータキャッシュの設定

ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

SMB共有のメタデータキャッシュの設定	1
SMBメタデータのキャッシングの仕組み	1
SMBメタデータのキャッシュを有効にする	1
SMBメタデータキャッシュエントリの有効期間の設定	2

SMB共有のメタデータキャッシュの設定

SMBメタデータのキャッシングの仕組み

メタデータのキャッシングにより、SMB 1.0 クライアントでファイル属性をキャッシュして、ファイル属性およびフォルダ属性にすばやくアクセスできるようになります。属性のキャッシュは、共有ごとに有効または無効にすることができます。メタデータのキャッシングが有効な場合は、キャッシュされたエントリの TTL を設定することもできます。クライアントが SMB 2.x または SMB 3.0 で共有に接続している場合は、メタデータキャッシュの設定は必要ありません。

SMB メタデータのキャッシングを有効にすると、パスとファイルの属性データが一定期間保存されます。これにより、一般的なワークロードでの SMB 1.0 クライアントの SMB パフォーマンスを向上させることができます。

特定のタスクでは、SMB によって大量のトラフィックが作成され、そのトラフィックにはパスとファイルのメタデータに対する複数の同一クエリが含まれることがあります。代わりに、SMB メタデータのキャッシングを使用してキャッシュから情報を読み込むことで、重複するクエリを減らし、SMB 1.0 クライアントのパフォーマンスを向上させることができます。



メタデータのキャッシングを使用すると、ごくまれに、古い情報が SMB 1.0 クライアントに提供されることがあります。ご使用の環境でこのリスクを回避する必要がある場合は、この機能を有効にしないでください。

SMBメタデータのキャッシュを有効にする

SMBメタデータのキャッシュを有効にすることで、SMB 1.0クライアントのSMBパフォーマンスを向上させることができます。デフォルトでは、SMBメタデータのキャッシングは無効になっています。

ステップ

1. 必要な操作を実行します。

状況	入力するコマンド
共有の作成時にSMBメタデータのキャッシングを有効にする	<pre>vserver cifs share create -vserver vserver_name -share-name share_name -path path -share-properties attributecache</pre>
既存の共有でSMBメタデータのキャッシングを有効にする	<pre>vserver cifs share properties add -vserver vserver_name -share-name share_name -share-properties attributecache</pre>

関連情報

SMBメタデータキャッシュエントリの有効期間の設定

SMBメタデータキャッシュエントリの有効期間を設定できます。これにより、環境内でのSMBメタデータキャッシュのパフォーマンスを最適化できます。デフォルトは10秒です。

開始する前に

SMBメタデータキャッシュ機能を有効にしている必要があります。SMBメタデータのキャッシングが有効でない場合、SMBキャッシュのTTL設定は使用されません。

ステップ

1. 必要な操作を実行します。

SMB メタデータキャッシュエントリの有効期間を設定する際の方法	入力するコマンド
共有を作成する	<pre>vserver cifs share -create -vserver vserver_name -share-name share_name -path path -attribute-cache-ttl [integerh][integerm][integers]</pre>
既存の共有を変更する	<pre>vserver cifs share -modify -vserver vserver_name -share-name share_name -attribute-cache-ttl [integerh][integerm][integers]</pre>

共有を作成または変更するときに、追加の共有設定オプションおよび共有プロパティを指定できます。詳細については、マニュアルページを参照してください。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。